

平成 27 年度実証事業の進め方について（素案）

(1) 今年度実証事業検証項目

- ① 公的個人認証サービスの導入にあたって関係者に必要となる
「作業」と「コスト」の明確化
- ② 「技術面」「ルール面」の課題の明確化
- ③ ユースケース実現に関する関係者のコンセンサスの形成

(2) 平成 27 年度予算の進め方

【公的個人認証サービス利活用推進事業 5.0 億円】（別紙参照）

○ 各ユースケースにおける実運用に向けた準備

- ①民間・行政手続等との認証連携等検証
 - ・電子私書箱に関する機能・技術的要件等検証
 - ・行政認証プラットフォームの検証
 - ・戸籍のコンビニ交付等の検証
- ②医療・健康分野での利活用検証（P I Nなしオンライン資格確認の実証等）
- ③アクセス手段の確保（C A T Vやスマートテレビにおける読取機能検証、共通プラットフォームの体制整備等）

個人番号制度の導入、個人番号カードの利活用推進

【主な経費】 公的個人認証サービス利活用推進事業 5.0億円<27当初(新規)>

- 個人番号カードに標準搭載されることが見込まれる公的個人認証サービスについて、民間分野や認証プラットフォームなど行政分野における利活用に関し、必要な実証等を実施

公的個人認証の利活用の実証(イメージ)

